

## 「新たな教師の学び」を支える協働のために 更新制講習以後の研修改革の展望をどう描くか

2021年11月15日に中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会から出された『「令和の日本型学校教育」を担う教師の学びの姿の実現に向けて（審議のまとめ）』において、教員免許更新制以後の教師の力量形成の新たなあり方、21世紀の教育改革を実現するための「新たな教師の学びの姿」、その視点・アプローチが「重要なメッセージ」として提示されている。

その重要な視点の一つが、『主体的・対話的で深い学び』を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにもまた求められている命題である」という観点であり、そのこととも深く関わって、「一人一人の教師が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りを持って主体的に研修に打ち込むことができる姿の実現を目指し」、「教師の学びの内容の多様性と、自らの日々の経験や他者から学ぶといった『現場の経験』も含む学びの多様性を重視すること」、さらに、こうした学びを支える学校組織マネジメントの重要性が指摘されている。

今回の特別フォーラムでは、本『まとめ』の審議に深く関わり、研修改革の実現に向けて当事者として重要な役割を担っておられる方々に報告・提案をいただき、今後の教師の学びとそれを支える組織のあり方、そして教師教育改革や「理論と実践の融合・往還」を掲げて取り組んできた教職大学院が果たしていくべき役割と責任について、実践的な討議を進めていくこととしたい。

10:00 趣旨説明

10:05 情勢報告：教師の資質能力の向上をめぐる施策の動向（仮）

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

10:20 実践的提案1：教師の主体的・対話的で深い学びとそれを支える研修の在り方（仮）

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

10:50 実践的提案2：今後の教員研修とそれを支える組織協働（仮）

福井大学 理事（企画戦略担当）・副学長 松木 健一

11:05 コメント・ディスカッション

福井県教育総合研究所長 北川 裕之

山口大学 教育学部 教授 和泉 研二

ほか

11:35 コメントを踏まえて 報告・提案者による再定位

11:50 今後の展望・提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

〈司会〉

福井医療大学 保健医療学部 教授 寺岡 英男

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広